

令和7年（2025年）2月26日

八王子市議会議長

鈴木 玲 央 殿

文教経済委員長

渡 口 禎

「教員の働き方改革について」に関する提言

現在、学校を取り巻く環境は、複雑化・多様化し、学校や教員に求められる役割が拡大している中、教員の長時間労働は深刻化し、メンタルヘルス不調や教員の成り手不足等といった問題も発生している。

その結果、教員の本来の役割である、児童・生徒ひとりひとりに寄り添い、児童・生徒が抱える様々な問題にしっかりと対応する時間を確保することが困難な状況にあり、本市においても早急に対応すべき喫緊の問題であると認識している。

このような背景を踏まえ、本委員会では、未来を担う児童・生徒の健やかな成長と豊かな学びの実現を図るため、本市学校教育における「教員の働き方改革について」を所管事務調査のテーマとして設定した。

本テーマを調査するにあたり、本市の教員の働き方改革の取組の方向性を示す「八王子市立小・中学校における働き方改革推進プラン」に基づいた施策の取組状況の確認、ICTを活用し、地域・保護者への情報発信・共有に取り組む先進自治体への視察、本市教育委員会が抱える課題を共有するための懇談会並びに学校や学校運営協議会との地域連携の状況確認などを行った。

これらを通じて、教員の働き方改革を推進するためには、これまでの本市教育委員会や学校での取組に加え、学校と地域・保護者が、児童・生徒を共に育てることを改めて認識し、相互に協力し合えるような仕組みづくりが重要であること、また、教員がその能力を十分発揮していくためには、時差勤務などの制度活用をはじめ、教員ひとりひとりが、自らの生活と仕事を両立できる環境を整備していくことが重要であると認識したことから、本委員会では、「地域・保護者との連携理解」及び「勤務形態」を重要な二つの論点として位置づけ委員間協議等を実施し、議論を重ねてきた。

以上を踏まえ、調査結果をとりまとめ、本委員会として、以下のとおり提言する。

1. 地域・保護者との連携理解の促進

本市教育委員会では、学校と地域をつなぐ学校コーディネーターをはじめ、スクール・サポート・スタッフや副校長補佐などを配置し、教員の負担軽減を図るための取組を推進

しているものの、地域の担い手の高齢化や学校に協力する方が限定的であることから、学校や教員を支える担い手が不足していく問題に直面している。

今後、学校や教員を支える人材を確保していくためには、学校と地域・保護者とが相互に協力することの重要性を積極的に情報発信し、理解促進に取り組む必要がある。

しかしながら、その取組は、学校や地域によって異なるため、全市的な取組として、以下のとおり、学校と地域・保護者が、容易に情報共有できる手法について、検討・充実に努めること。

- (1) リーフレット・SNS等あらゆる手法を活用しながら、教員の時間外勤務の実態、学校の課題や働き方改革に向けた本市教育委員会の取組等を発信・共有し、さらなる地域・保護者の学校に対する協力や理解促進に取り組むこと。

2. 柔軟で働きやすい環境整備に向けた取組及び提案

教員の能力を十分に発揮させるためには、教員ひとりひとりの心身の健康を保ち、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備することが必要である。一方、時差勤務などの制度はあるものの周囲の理解や児童・生徒への影響から十分に利用できない現状があるため、多様な事情を持つ教員それぞれが働き方に対する意識を変えていく必要がある。それに加え、国や東京都が定める教員の人員配置等、国や都に関連のある制度上の課題があると認識していることから、教員の意識改革や取組に頼るだけでなく、あわせて国や東京都への働きかけを行っていく必要がある。

ついては、以下の取組の検討・充実に努めること。

- (1) 教員の働き方改革や教員の意識改革に関する取組など、先進的に取り組む自治体の調査・研究を行うとともに、働き方改革を推進するモデル校を設置し、取組の好事例を市内学校に広げることで、教員の意識改革を図ること。
- (2) (1)の取組にあわせて、学校における持続可能な勤務環境の整備や教員の時間外勤務の改善のためには、国や東京都の人員配置基準など制度の見直しも必要不可欠である。本市教育委員会においても、現状、関係省庁等へ教員が働きやすい環境整備に向けた要望を行っていることは認識しているが、本提言を受け、さらなる取組の充実や職場環境の改善を求め、要望を重ねていくこと。

3. 効果的なICTの活用

今後、人口減少や高齢化が進む中、学校を支える人材の不足や限られた教員数の中で、教員の負担を軽減しながらも、教育の質の維持・向上を図るためには、効果的なICTの活用を早急に検討していく必要がある。そのため、児童・生徒ひとりひとりに向かい合い、対応すべきことと、ICTを活用することで効果的に対応できることを、場面に応じてし

っかりと見極め、児童・生徒の豊かな学びを支えていくこと。

4. 総括的な提言

現在、本市教育委員会の取組の基となる「八王子市立小・中学校における働き方改革推進プラン」について、現在の社会情勢の変化に伴い、「地域・保護者への理解促進」、「効果的なＩＣＴの活用」など新たな視点が必要であることから、取組に対する評価を行い、必要に応じて新たな視点を追加するなどプランの見直しを検討すること。